

ヒューマンライブラリー in 宇治ボランティアフェスティバル



日時：2025年3月30日(日) PM1:00~2:45
場所：宇治市生涯学習センター 第2ホール集合
(その後、会議室に分かれて実施)



内容

今回は在日コリアン、精神障がい、知的障がい、全盲の人、セクシャルマイノリティの人たちが語り手(本)になり、参加者(読者)と交流します。
どんな方が語り手(本)になるのかは下記のブックリストを参照ください。

ヒューマンライブラリーとは？

障がいや病いのある人、セクシャルマイノリティ、在日外国人など、世間からレッテルを貼られたり、画一的に見られたりしがちな人たちが生きている「本」(語り手)になり、「読者」(参加者)との対話を通して、多様性を認め合う出会いを創造する取組です。
デンマークの若者たちにより、北欧最大のロックフェスティバルで始められ全世界に広がっています。



ブックリスト：当日は最大2冊の「本」が読めます！(第一読書 PM13:10~13:50、第二読書 PM13:55~14:35)

語り手(本)	司書	【タイトル】と<キーワード>	本のあらすじ
まりもさん	田中諭子 (医療法人栄仁会 訪問型生活訓練 いろは)	【星をつなぐ】 <かかわり、双極性障がい>	いじめや過酷な高校生活をを経て大学に進学。大学での寮生活で精神障がいを発症し就職をあきらめ実家に戻りますが、家族の介護に巻き込まれます。支配的な父親との衝突が増えましたが、周囲のサポートで自分と家族とのかかわりを見つめ直しました。当事者が求める周囲の関わり方の本音をお話します。
まきこさん	村本美都子 (ウトロ平和祈念館)	【ウトロに暮らし子を育てて】 <在日コリアンとして、市民として、人としての願い>	大阪生まれ。戦後にウトロの在日1世と結婚。過酷な住環境の中、仕事をしながらウトロコミュニティの中で子どもを育ててきました。ウトロでの生活や日本人支援者とのつながり、ウトロ平和祈念館建設以降に加わったウトロ義勇隊のことについてお話します。
忠幸さん	早田正男 (宇治ボランティア活動 センター運営委員)	【人生マラソンを完走する】 <全盲の鍼灸(しんきゅう)師として生きて>	私の小さいころ「盲人に近づくと音がうつる」と言われましたことがあります。今はそんなことはありませんが、まだまだ盲人の生活設計の選択肢は限られています。全盲の妻とともに、ふたりの子を育てつつ、宇治市視覚障害者協会前会長として、目の不自由な人と共に福祉に尽力してきた平生をお話します。マラソンランナーという趣味もあります。
ショーさん	井上学 (京都フォーライフ代表)	【働くこと・仕事のこと】 <知的障害(ダウン症)があり、毎日楽しく働いています>	アイドル歌手への夢を抱けて京都フォーライフに就職。明るく楽しく元気に歌って踊る作業員。『新しい作業所のリーダー』として活躍中、わかっていて、ほしーいんでしょ？ 二度見する この私、まだまだヤワな社長を 若き育てる息をむくほどの仕事ぶりー♪ でもダメメ！ 京都フォーライフで頑張ります！
あきらさん	本田耕志 (LGBTQ+の支援活動を行う コミュニティ団体=カラフル)	【女性として生まれ、男性として 生きる僕から伝えられること】 <トランスジェンダー、自分らしく生きる、幸せのかたち>	高知市で大人保家長女として誕生。幼い頃から男物の服を好み、いわゆるボーイッシュな女の子でした。そのため女子トイレに入ると男の子と間違えられることもしばしば。周りから白い目で見られ、社会での生きづらさを抱える毎日でした。中学からはバスケットに明け暮れ、大人になってからは中学高校で9年間教員として勤めました。何年も自分と向き続け、一度きりの人生自分らしく生きていこうと決意。17歳で戸籍変更をし、その後は現在のパートナーである女性と結婚をして幸せに暮らしています。



参加方法

定員30名/事前申込制/先着順/申込締め切り：3月23日。メールでお申し込みください。

ひとつの「本」の読者は5、6人で当日は2冊の「読書」ができます。申込時に5冊の「本」の「読書」に関する優先順位を主催者にお伝えください。また、特にご希望がない場合もその旨をお知らせください。なお、振り分けは先着順で行うため、ご希望に添えない場合もありますが、主催者に一任くださるようお願いいたします。

申込先/問い合わせ先：宇治ボランティア活動センター(宇治市社会福祉協議会内・宇治市宇治琵琶45)

Mail vorakatu28@yahoo.co.jp

